

湘南ペガサスに入会して

ペガサス 70 磯谷兵衛

湘南ペガサス設立 40 周年おめでとうございます。

設立された先輩、継続されてこられた先輩に敬意と感謝を申し上げます。

私は、昭和 44 年県立川崎高校卒業ですが、勤務の関係で全国を転々としており、本格的にシニアサッカーをするようになったのは 57 歳で地元に戻ってからです。川崎四十雀でプレーしていましたが、2014 年、65 歳の時に、清水遠征に参加してから、湘南ペガサスに入会させて頂きました。ポジションは、主に GK で、シニアリーグは川崎でプレーし、G リーグや遠征では湘南ペガサス 65 に参加させて頂いていました。今年、70 の資格ができてからは、本格的にペガサス 70 でプレーするつもりです。

湘南ペガサスに入って間もない頃、シニアリーグで川崎とペガサスが当たり、ペガサスの選手の足が私の膝の外側に当たり、力が入らなくなって、退場したことがありました。そのとき、歩けない私をピッチの外に運んでくれたのは、チームメイトの川崎ではなく、対戦相手のペガサスの選手でした。このときが、私の本当のペガサス入会の時かもしれません。

GK は、ストレスの多いポジションですが、ペガサスでプレーするときは、あまりストレスを感じることはありません。「サッカーは少年を大人にし、大人を紳士にする」ペガサスには紳士が多いのかもしれない。GK として一番大切なことは、華麗なセービングではなく、フィールドプレーヤーからの信頼だと思っています。そのためには難しいボールを取ることも、何でもないボールをミスせずに確実にキャッチすること、そして正確なポジション取りが一番大切で、セービングしなければならないような場面は、実は GK としてはあまり好ましいことではありません。

ゲーム中いたかどうか分からない理想の GK を目指して、これからも皆さんと一緒に生涯スポーツとしてサッカーを楽しみたいと思いますのでよろしくお願い致します。